
令和6年度事業計画書（案）について

1 事業実施の方針

改めて、阿武隈地域の地域資源を確認し、地域づくりに特化した中間支援組織としての役割を再定義していく。そのために、「あぶくま学」の再興を計画する。

特に、当会設立時の原点を振り返る。

福島県、福島県阿武隈地域振興協議会などからの委託業務を積極的に活用して、地域づくりの中間支援組織としての事業を企画し組み立てていく。

特に、3年目になる阿武隈地域人材育成事業（あぶくま人づくり塾）に力を入れていく。

予定している主なる業務は、下記の通りである。

- ◆ 令和6年度福島県復興支援員設置業務委託
 - ※9年目となる福島県からの委託業務を行う。復興支援員3人を、適材適所に配置する。
 - ※工程表を適宜作成し、工程管理を徹底させる。
 - ※本業務における相談業務に力を入れる。
- ◆ あぶくまフェア2024催行業務委託
 - 9月6－8日（金・土・日）（本年度は、年一回の開催）
- ◆ 阿武隈地域人材育成事業（あぶくま人づくり塾）業務委託
 - キックオフ講演会：7月12日（金）
 - 第1回WS：8月23日（金）
 - 第2回WS：10月18－19日（金・土。合宿）
 - ※2022年度、23年度の塾生とのつながりを大切にする。
 - ※メールリングリスト（ikaru@npo-abukuma.org）を利用する。
- ◆ あぶくまSDGsアワード（仮称）の開催
 - 別紙参照
- ◆ その他の業務

上記の活動を行うために、福島県地域振興課、福島県阿武隈地域振興協議会をはじめ、阿武隈地域の地方振興局、商工会、観光協会・観光事業者、道の駅、宿泊施設などと連携を密にする。

特に、阿武隈地域の特色ある企業や市町村と連携を強める事業を企画する。あぶくまフェア、あぶくまSDGsアワード(仮称)にも、その視点を取り入れる。



「消滅自治体論」に抗い、「持続可能な地域づくり」という視点を深める。

東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所の事故から復興の途上にある浜通り地域とも連携する。

(人材)

新たな人材を確保する。塾生を当会の事業に積極的に参画してもらう。／招き入れる。

職員の学習機会を作る。

当会の情報発信(A4リーフレットの作成、ホームページの作り変え)に努める。

(組織基盤)

組織基盤を充実させるために、会員を増やす。四半期ごとに理事会を開催する。

ビデオ会議サービス「ZOOM」などを活用し、地域づくり活動のデジタル化をすすめる。あぶくま地域づくりDX推進アンバサダーを配置する。

田村市との協働を企画する。

(財政基盤)

経費を節約する。

第2期復興・創生期間(2021~25年度)後のことを見据え、予算開発に努める。予算に関するチャンネルを増やす。

特に、農村型地域運営組織(農村RMO:Region Management Organization)に関するプロポーザルに参加する。

2 事業の柱を次のように定める。

(1) あぶくま学に係る事業

- ◎あぶくま学の講座の企画（開催）
- ◎阿武隈地域人材育成事業
- ◎地域づくり支援活動に役立つ勉強会への参加
- ◎持続可能な地域づくりに関する調査

(2) 交流の推進に係る事業

- ◎福島県復興支援員設置業務（福島県地域振興課からの委託業務）

(3) 産業の振興に係る事業

- ◎あぶくまフェア2024の企画開催（福島県阿武隈地域振興協議会からの業務委託）

(4) 基盤づくりに係る事業

- ◎あぶくま人づくり塾生との交流（支援を含む。）
- ◎都路事務所の利活用促進（補助金説明会の開催）

(5) 中間支援に係る事業

- ◎相談業務
- ◎聞き取り調査の実施（2団体）
- ◎島根県中山間地域研究センターの視察

(6) ホームページによる情報発信に係る事業

- ◎Web掲載の記事数を増やす活動
- ◎ホームページのリニューアル等

(7) その他、第3条の目的を達成するために必要な事業

- ◎諸団体及び市町村との連携を強める事業
- ◎あぶくまSDGsアワード（仮称）の企画開催

3 事業の実施に関する事項

特定非営利活動に係る事業

定款の 事業名	事業内容	実施日時	実施場 所	従事者 の人数	受益対象者 の 範囲及び人 数	支出額 (千円)
① あぶく ま学に 係る事 業	あぶくま学の講 座の企画（開催）	通年	未定	4人	阿武隈地域 全域	200
	阿武隈地域人材 育成事業	通年	未定	3人	阿武隈地域 全域	600
	地域づくり支援 活動に役立つ勉 強会への参加	通年	郡山事 務所	2人	阿武隈地域 全域	100
	持続可能な地域 づくりに関する 調査	未定	都路事 務所	1人	阿武隈地域 全域	200
② 交流の 推進に 係わる 事業	福島県復興支援 員設置業務（福 島県からの委託 業務）	通年	都路事 務所	3人	阿武隈地域 全域	11,638

③ 産業の振興に係る事業	あぶくまフェアの企画・開催	9月9－8日	「コラッセふくしま」(福島駅西口複合施設)	3人	福島全域	600
④ 基盤づくりに係る事業	あぶくま人づくり塾生との交流(支援を含む。)	通年	郡山事務所	4人	15人+α	100
	都路事務所の利活用促進(補助金説明会の開催=未確定)	通年	都路事務所	4人	阿武隈全域	100
⑤ 中間支援に係る事業	相談業務	通年	都路及び郡山事務所	4人	20団体	200
	聞き取り調査の実施(2団体程度)	12月1月	先方事務所	2人	阿武隈全域	50
	島根県中山間地域研究センターの視察	通年	先方事務所	1人	阿武隈全域	300

⑥ ホームページによる情報発信に係る事業	Web掲載の記事数を増やす活動	通年	都路事務所	3人	阿武隈地域全域	50
	ホームページの作り変え	上期	郡山事務所	2人	阿武隈地域全域	300
⑦ その他、第3条の目的を達成するために必要な事業	諸団体及び市町村との連携を強める事業	通年	郡山事務所	4人	阿武隈地域全域	100
	あぶくまSDGsアワード(仮称)の企画開催	通年	郡山事務所	4人	阿武隈地域全域	365

その他の事業

令和5年度は、その他の事業は行わない。